

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	広島市立井口小学校		
学校長氏名	林 信一郎	栄養教諭氏名	下沖 真千子
職員数	63名	児童・生徒数	944名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

朝ごはんを毎日食べる児童は94%と高いが、内容を見てみると、野菜を食べている児童が60%でバランスよく食べている児童は多くない。また、朝ごはんの準備や手伝いを週に3回以上している児童も53%と低く、学校で学んだことが家庭での実践に結びついていない実態がある。

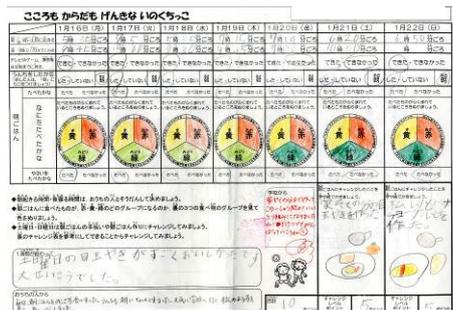
2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

『「朝ごはんに野菜を食べる」「朝ごはんの準備や手伝いを週3回以上する」児童が70%を上回る。』を学校経営重点目標とし、食育タイムで朝ごはんの役割やどんな朝ごはんをたべたらよいか等の一斉指導を行い、「こころもからだも げんきな いのくちっこ」（生活リズムカレンダー）で家庭での実践に生かせるように取り組む。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ）こころもからだも げんきな いのくちっこ（生活リズムカード）の実施

本校の重点目標「主体的な体力づくり」と「望ましい食習慣づくり」を目指し、体力づくりと連携して「こころもからだも げんきな いのくちっこ」の取り組みを行っている。栄養バランスのとれた朝ごはんを食べることで、望ましい生活習慣の確立と体力づくりの基礎を培い、自分で朝ごはんの準備や手伝いに積極的にかかわることで、食の実践力をつけることを目的としている。生活リズムカレンダーを年に2回（9月・1月）行い、朝ごはんをバランスよく食べることや、休日には発達段階に応じた朝ごはんチャレンジレベルから自分でできることを選んで、お手伝いを実践する取り組みを行った。保護者からも「朝ごはんに野菜を取り入れるようになりました。」「お手伝いをすると、朝ごはんをしっかりと食べるようになりました。」などの言葉があり、家庭と連携し朝ごはんの大切さを意識づけることができた。



【取組2】（テーマ）教科等における食に関する指導の充実に向けた取り組みについて

食に関する指導の全体計画と年間指導計画に基づき、各学年で担任と栄養教諭とのT・T授業を行っている。

○1年生活科「がっこうだいすき」において、学級担任と栄養教諭と給食調理員でT・T授業を実施した。「きゅうしょくのひみつをみつけよう」をめあてとして、クイズで給食調理員の仕事を知ったり、給食を作るときに使う道具に触れる体験を行ったりした。その後、給食のお手伝いとしてたまねぎの皮むきを行い、給食で食べる取り組みを行った。直接給食調理員から給食について教えてもらうことで、給食に興味を持ち、身近に感じる事ができた。



○6年言語・数理運用科「地場産物を使った広島らしいメニューを考えよう」において、学級担任と栄養教諭でT・T授業を実施した。給食の献立から郷土食や地場産物についての情報を取り出すよさを知ること、自分たちが給食のメニューを考える意欲を持つことができた。その後メニューを考える際、学校給食で実施



できるようにするために、献立作成のポイントを伝え、各クラスから料理を選び、組み合わせて一食分の献立にし、独自献立として実施した。テレビ放送で献立のアピールを行うことで、地場産物を全児童に知らせるよい機会となった。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

○全校児童にキャラクターの募集を行い、興味・関心を持たせた。決定したキャラクターは、学校の掲示や食育だより、テレビ放送等で活用した。

○給食委員会でタコタコライス之歌を作って歌い、給食放送等で活用し、啓発を図った。

○食育だよりでつくレポを募集したところ、家庭からたくさんのおつくレポが寄せられ、食育だよりで紹介した。親子で楽しみながら調理したり、家族でおいしく食べたりと、食への興味・関心が高まっているように感じた。

○料理クラブで、「ひろしまんぷく！シャキシャキサラダ」と「広島フルーツぷるるんゼリー」を調理して食べた。簡単だったので家でも作って食べたいという児童が多かった。



100万食食べようおに

5 取組に対する成果と課題

【成果】

目標値：朝ごはんを食べる児童が97%を上回る。

朝ごはんに野菜を食べる児童が70%を上回る。

達成率：朝ごはんを食べる児童 97.6% (平成29年2月)

朝ごはんに野菜を食べる児童 68.9% (平成29年2月)

○こころもからだもげんきないのくちっこ(生活リズムカレンダー)を活用して取り組んだ結果、平成29年2月の結果が目標値に近い数値になったり、上回ったりすることができた。

○学校評価の保護者アンケートで、91%の保護者が「食への興味関心が高まっている」と答えていた。

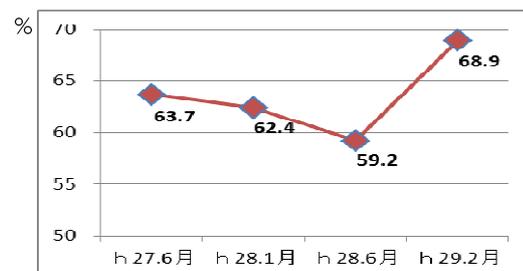
【課題】

目標値：朝ごはんの準備や手伝いを週3回以上する児童が70%を上回る。

達成率：朝ごはんの準備や手伝いを週3回以上する児童 54.7%

○平成29年2月の結果は一番よい数値になったが、目標値とまだまだ差があるため、取り組み内容を見直しが必要である。

【朝ごはん野菜を食べる児童】



【朝ごはんの準備や手伝いを週3回以上する児童】



6 今後の取組に向けた改善方策について

○家庭との連携：食の実践力を育むための「こころもからだもげんきないのくちっこ(生活リズムカレンダー)」を活用した取り組みを継続して実施し、定着を図りたい。朝ごはんの準備や手伝いをする児童を増やすために、取り組む日数を増やしたり、発達段階に応じて手伝いの内容を考えて指導したりするなど、生活リズムカレンダーの取組内容の見直しを行う。

○地域との連携：独自献立で地場産物の活用を増やせるように、地域の農家さんやJAの方と連携を図ったり、学校ホームページの食育内容の充実を図ったりするなどして、積極的に発信していきたい。